

温暖化防止うらやす

平成 28 年度 1 月度定例会議事録

日時:2017 年 1 月 18 日(水) 午後 3 時～4 時 35 分 場所:市民活動センター 会議室

議長:川島、書記:島野

出席者:市坪、大西、小川、川島、神尾、松村、團、林、島野、
本間(加入検討のためオブザーバーとして参加)

次回の定例会:「日程」3 月 16 日(木) 午後 3 時～午後 4 時 45 分

総会日程 4 月 20 日 午後 3 時～午後 4 時 45 分

「場所」はいずれも市役所 1 階 市民活動センター会議室

I. 決定事項

・次回までに各自の平成 29 年度の活動計画について検討する。

II. 報告連絡事項、(16 日配布資料参照)

1) 本間さんの自己紹介 千葉県地球温暖化防止活動推進員になるのを契機に、温暖化防止うらやすの活動状況を知るため会議に参加された。ご自身は食やマイクロプラスチック問題に関心を持たれている。

2) 川島さんより「集合住宅 LED 化の節電効果考察」の発表(配布資料参照)

使用電力は 1 日当たりおおよそ 700kwh 削減、年間でコスト削減 7 百万円、CO2 は 124. 5t 削減
意見

・大きな効果がある。温暖化防止うらやすとして環境フェアなどのイベントで発表できないか。

・他団地への水平展開はできないか。

→データは取扱注意なので、発表等の可否については調査検討する(川島)

3) 大西さんより「世帯形態の変容は家庭部門の電力消費量にどう影響するか?」の発表(配布資料参照)

全国平均では 2000 年代に入っても単身世帯が増加し、3 世代世帯が減少しているが、
浦安市では 1990 年代末で単身世帯の増加も終わり、子供のいる世帯の減少も下げ止まり、
2000 年代に夫婦世帯が若干増加傾向にある。

このため、電力消費量の経年変化の減少は 1990 年代末で終わり、2000 年代はほぼ横ばいで推移している
という結果が得られた。

これは全国平均の電力消費量経年変化とは異なる。

全国平均の電力消費量はデータのある 1968 年から 2013 年まで一貫して減少傾向にある。

また、戸建て世帯は集合住宅世帯と比較して 1.4 倍の電力消費量にある。

意見

・浦安市の電力消費量の実データがどのようになっているかと比較できないか。

→市はデータを持っていない。東電も公開はしていない。

・千葉県では家庭部門は 2030 年度で 2013 年度比世帯当たり 30%削減を目標としているが浦安市では難しいと推定できる。

→市がどのように展開するかも調べておくべきでは

4) 市民大学公開環境講座→2017 年 3 月 4 日開催「地球温暖化、廃棄物、生物多様性など環境問題全般」

南川秀樹氏(日本環境衛生センター長、元環境相事務次官)「東京湾の生き物」佐々木淳氏(東京大学教授)
会議参加者は全員参加ということで川島代表が市民大学への出席登録をする。

5) 推進委員は 2 年更新から 5 年更新となる。推進員申請登録はネットででき、登録時研修はなくなる。

推進員に未登録の方は 1 月 20 日が締め切りなので早急にアクションを取ってほしい。

以上